

平成24年度
自己点検・評価報告書

目白大学短期大学部

(1) 特筆すべき事項

<教育について>

- ①知識伝達型授業から実習、演習を取り入れた参画型授業への転換を3学科ともに試みている。そのことが少しずつ成果をあげている。今後より一層の授業の改善を進めていくことが自主性を主体とした学びにつながっていくものと考えている。
- ②ベーシックセミナーの準備のために3学科がテーマ、教育方法について協議を重ね、学科の教員を巻き込んだことが、教員にとってのFDの一環となり、教育技法を考えるうえで有意義であった。
- ③資格取得に個別指導を行っている。

<研究について>

- ①科学研究費を1件取得することができた。
- ②平成25年度の紀要は原則教員全員の投稿とすることが決まった。

<学生指導について>

- ①授業をしっかり受講することを指導する一環として、欠席、遅刻に関して、厳格に注意を促すようにした。結果は徐々に出てきている。
- ②保護者との連携を強化し、問題のある学生に対しては密に連絡を取り、効果をあげた。
- ③就職支援をより一層強化している。

<社会貢献について>

- ①製菓学科は桐和祭のお菓子の売り上げを毎年東日本大震災への義援金として寄付を続けている。
- ②桐和祭で地域の方々との交流をイベント等を通じて行っている。

<組織マネジメントについて>

- ①生活科学科、ビジネス社会学科は平成26年度からのカリキュラム改定を実施するために、学科一丸となって検討を行った。
- ②平成26年度に受ける予定の第三者評価に向けての準備委員会を発足させた。

(2) 今後の課題

<教育について>

- ①アクティブラーニングを中心に学生の自立した学習を促すさまざまな試みを各学科が試みている。その成果は徐々に上がっているが、学力の向上に必ずしもつながらず、いかに学力の向上を図るのが今後の課題である。
- ②課題学習として授業の補完的な課題を出すのが、その成果が上がっていない。
- ③授業の効果測定方法について検討を行う。

<研究について>

- ①活発に行われているとは言えない状態であるので、教育技法や共同研究など、取りかかりやすい研究から行えるように環境整備をしたい。
- ②研究活動に費やす時間の確保が今後の課題である。

<社会貢献>

- ①短期大学部としての社会貢献ができていない状況である。3学科がそれぞれの持ち味を活かしたものを模索したい。

<組織マネジメント>

- ①製菓学科に2名の新任教員を迎えるので、製菓学科の学科運営はゆとりを持つことができる。新任を育てていきたい。
- ②学科間の連携を取り、学生の学びの幅を広げていくように検討を始めたい。

目白大学・目白大学短期大学部 自己点検評価	学科用評価シート	組織名称（評価単位名称）	生活科学科
--------------------------	----------	--------------	-------

項目	自己評価
教育	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①前年度に引き続き、学生の漢字能力の向上に取り組んだ。 ②ベーシックセミナーに対して学科でどのように取り組み、進めるかの議論を行い、グループワーク、イベントを体験させることを中心に行うことで進めることを確認した。 ③セミナーⅠ・Ⅱでの卒業論文、卒業制作の作成が困難な学生が増えているので、対策を考え、平成25年度は卒業論文、制作の中間報告会、最終発表会を学科で行うことを確認した。 ④書く能力の向上の一環として、図書館主催の読書感想文コンクールに1年生全員の応募を義務付けた。優秀賞に1名を出すことができた。 <p>(2) 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①科目と資格取得との関連を明確にし、学生の資格取得の実績を上げるようにする必要がある。 ②専門教育の科目数が少ないフィールドの学生には他のフィールドの科目を学習する動機づけに課題が残る。
研究	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <p>学会誌掲載論文3件、紀要掲載論文1件、その他の公表論文1件、書籍等出版物3件、学会発表2件、その他町内会での講演や学会での学術講演など、各教員がそれぞれの研究に精一杯努力している。</p> <p>(2) 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①多忙であることが大きな理由だと考えられるが、学会誌への投稿、学会発表の件数が少ない。効率よく学科内の業務が遂行できるようにしたい。 ②平成25年度は全員が紀要への投稿をするので、研究の時間を確保できるようにしたい。 ③教育の成果に関する事柄を学科全員が担当して、学内紀要への投稿を目指したい。
学生指導	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者会における担任との面談等を通じて学生をより把握し、きめ細かい指導ができた。 ②退学、休学を余儀なくされる学生に対して、担任が面談をしっかりと行った。 ③就職に対してはキャリア委員を中心に、担任が個々の学生に対してサポートを強力に行った。就職率は87.8%とまずまずだった。 ④遅刻、欠席を少なくするために特に遅刻を厳しく指導することとし、「5分・10分ルール」(授業開始から5分までは出席、5～10分の入室は遅刻、10分を過ぎたら欠席扱いとする)を短大全体で導入したところ、効果を上げた。遅刻が多い学生はアルバイトとの関連が大きいと考えられるため、面談を行い、指導した。 <p>(2) 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①精神的に弱い学生が増えているように感じる。担任が個人面談をより一層重視し、退学等を未然に防ぐことに力を入れる必要がある。 ②学習習慣がついていない学生に対して自主的に学習するように仕向ける方法を考えることが課題である。
社会貢献	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①桐和祭の手芸無料体験教室に、キャンパス近隣から多数の参加者があった。 ②教員1名が秘書検定準1級面接運営委員として、検定の面接に携わった。 ③教員1名が全国大学実務教育協会の広報常任委員長として、資格の広報に携わった。 ④教員1名が東京都福祉サービス第三者評価員としての活動を行った。 ⑤教員1名が東京都家庭裁判所から成年後見人を受任した。 ⑥教員1名が豊島区介護保険認定審査員としての活動を行った。 <p>(2) 今後の課題</p> <p>地域等との連携での社会貢献は今後ますます必要とされるが、生活科学科においては活動が弱い。学科としての活動を推進したい。</p>
組織マネジメント	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護福祉コースの東京都委託生の教育にさまざまな問題を抱えているので、介護福祉コースの教員と密に連絡をとり問題にあたった。 ②平成26年度からのカリキュラム改正に向けて、学科教員が知恵を出し合い成果を得ることができた。 ③新任教員1名が加わるので、スムーズに学科に溶け込めるように配慮した。 ④学科予算の執行に関して、情報を共有することを心がけた。 <p>(2) 今後の課題</p> <p>平成26年度の新カリキュラムへの移行をスムーズに進めていく。</p>
その他	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <p>特になし</p> <p>(2) 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就職率を上げるためのさらなる方策を考える。 ②卒業生との連携を密にするための方策を考える。

項目	自己評価
教育	<p>(1)特筆すべき事項</p> <p>1. 「菓子作りは人（学生）作り」との考えに基づき、専任教員が情報を共有しながら学生個々の資質に合わせて、専門教育科目における領域（製菓の知識・製菓の技能・製菓の広域）ごとに知識や技術の伝授を行い、学生4～5名でのチームワークを図りつつ菓子作りの大切さを指導、学習させた。</p> <p>2. 『販売実践』の授業が開講2年目を迎えて定着しつつある。授業で制作した製品を実際に販売する体験を通じて大量生産、商品管理、販売技術、金銭管理などを実践的に学ぶ内容は、学生にとっても魅力的な授業として好評を受けている。</p> <p>(2)今後の課題</p> <p>1. 日常的な礼儀作法ができない学生もおり、挨拶の必要性、大切さを我々教員も認識しながら授業を通して指導していきたい。</p> <p>2. 学生によって科目に対する興味、意欲の持ち方に差があることを踏まえ、授業に対してより積極的に取り組むように指導したい。</p> <p>3. 製菓実習科目における指導要綱的なものの作成の検討を積極的に進め、同一科目につき全クラス同一内容の授業確立を目指したい。</p>
研究	<p>(1)特筆すべき事項</p> <p>製菓学科で特選した洋菓子・和菓子のレシピを掲載した小冊子『Happy Sweets』を発行した。</p> <p>(2)今後の課題</p> <p>製菓という分野の性質上、学術論文等の作成、発表は本学設置の他学部・学科分野に比べて困難であることから、今後は以下①～⑤のような実践活動をもって本学科の研究活動としていくことを検討している。</p> <p>①学内注文からの製品製作のレシピ等の確立</p> <p>②製菓に関する出版業界からの製品製作依頼、取材撮影及びレシピ等の公開</p> <p>③イベント出店、参加、販売</p> <p>④企業、教育機関との共同製品開発</p> <p>⑤学内紀要への投稿の環境作り</p>
学生指導	<p>(1)特筆すべき事項</p> <p>1. 学業面、生活面など学生個々が抱える問題などについて、担任を中心に学生の情報を教員一同が共有し、個人面談などで丁寧に対応し適切なアドバイスをした。</p> <p>2. 保護者会を開催して在学生、卒業生にも出席してもらい、実体験を踏まえた就職活動の流れ、就職してからの人との接し方、業務の把握方法などを発表してもらうことで保護者と細やかな情報を共有し、密なる関連の構築に努めた。</p> <p>(2)今後の課題</p> <p>1. キャリアセンターとの協力、連携を強化するなどして、就職活動に対する指導の徹底を図りたい。就職活動の流れ（進め方）を理解していない学生もいるようで、順序立てた指導が必要と考えている。</p> <p>2. 授業を通して言葉遣い、学ぶ姿勢など社会に出て通用するマナーなどを徹底的に習得させたい。</p>
社会貢献	<p>(1)特筆すべき事項</p> <p>1. 桐和祭での商品販売、喫茶販売を通して、キャンパス近隣の方々と交流を図り、菓子の魅力を伝えることができた。</p> <p>2. 地域住民向けに菓子作りの親子体験教室を開催して、地域社会に菓子作りの楽しさを伝えた。</p> <p>3. 『販売実践』の授業における売上金全額を、東日本大震災への義援金として日本赤十字社に全額寄付した。</p> <p>(2)今後の課題</p> <p>1. 社会に対して「製菓」をもとにどのような貢献ができるのか、を学生と教員と一緒に考える時間を作り、菓子作りを通じた社会貢献の方策を検討したい。</p> <p>2. 高校教員を対象とした体験実習を充実させ、製菓学科の教育力を理解してもらい、高校の教員を通じた社会貢献活動を進めたい。</p>
組織マネジメント	<p>(1)特筆すべき事項</p> <p>1. 学科開設から7年目を迎えて、学科教員間での協力体制をさらに充実させることができた。</p> <p>2. 全スタッフの経験がより充実し、学生への教育効果が高まってきた。</p> <p>3. 地域社会への貢献、及び将来の広報活動への意識が高まってきている。</p> <p>(2)今後の課題</p> <p>1. 入学定員の確保に向けて高校生への体験実習参加促進、オープンキャンパスや高校訪問等を通じた受験生獲得活動を強化する。</p> <p>2. 入学者の増加を目指して、入試方法の複数化や高校教員対象の体験実習の拡大、高校への出張授業の実施・拡大を検討する。</p> <p>3. 学科の教員相互が良好なコミュニケーションを保ち、個々のスタッフがより充実した教育・研究業務を遂行できる環境作りをする。</p> <p>4. 今後も増加が見込まれる学内注文による菓子製作に対して、①学科にとっての広報価値の有無を見極めた受注、②学科内企業設立に向けた方策の検討を行う。</p>
その他	<p>(1)特筆すべき事項</p> <p>学術論文や研究に値する製菓学科業務の構築の模索</p> <p>(2)今後の課題</p> <p>1. 学生が「就職する」ということに真摯に取り組める体制作りをし、就職率のさらなる向上を図る。</p> <p>2. 近い将来において、製菓学科独自の『菓子祭り』開催に向けて模索する。</p> <p>3. 平成24年度に初めて開催した「卒業生の集い」を発展させ、将来の「製菓学科・校友会」発足の足がかりとする。</p>

項目	自己評価
教育	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ケーススタディやインバスケ法などを使った理解しやすい授業を心掛けた。 ② 分野毎や週毎に課題を出し、提出させた。 ③ 資格・検定について、取得支援した。 ④ 調査などの実践的授業を実施した。 <p>(2) 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 短期大学部におけるアクティブラーニングの方法論の構築を目指す。 ② 卒業研究に向け、意欲的な学びを引き出す授業の展開を目指す。 ③ 授業の効果測定方法について検討を行う。
研究	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 短期大学部紀要(50周年記念号)に本学科を含む短期大学部専任教員全員が寄稿することとなった。 ② 教員2名が科学研究費(基礎研究)を獲得している。 ③ 教員2名が学内の科学研究費申請のための助成に採択され、平成25年度科学研究費助成の獲得を目指している。 <p>(2) 今後の課題</p> <p>授業方法に関する共同研究を実施し、レポートにまとめファイルする。</p>
学生指導	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <p>次の事項に留意した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 社会的マナーや礼儀について、入学当初よりその場その場での指導を徹底した。 ② 学生を随時呼び出し、学習や就職の指導をした。 ③ 就活ノートや資格の問題集などを学生に配布し、就職活動や資格取得を喚起した。 ④ 前年度導入した「出欠記載訂正願」の受理を厳格化し、丁寧な書類作成を促した。 <p>(2) 今後の課題</p> <p>中だるみしがちな2年生の受講態度の改善を目指す。</p>
社会貢献	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <p>社会貢献は個々の教員において取り組まれているが、学科としては行っていない。</p> <p>(2) 今後の課題</p> <p>被災地ボランティアなどに関心を示している学生に対して支援を行いたい。</p>
組織マネジメント	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <p>科内会議に加えて、教員間の情報共有のためのミーティングを随時行っている。</p> <p>(2) 今後の課題</p> <p>平成26年度カリキュラムへの円滑な移行のための準備を行う。</p>
その他	<p>(1) 特筆すべき事項</p> <p>特になし</p> <p>(2) 今後の課題</p> <p>平成26年度に短期大学部として受審する第三者認証評価に向けての準備を行う。</p>